

神奈川新聞

落書き防げと壁画

南足柄

橋脚に子どもらが描く



落書きがあった橋脚に絵を描く子どもたち
—南足柄市怒田

南足柄市内の小中学生、高校生らが、落書きされた地蔵下橋橋脚(同市怒田)に壁画を完成させた。地域にゆかりの深い金太郎や山などを赤や緑、オレンジなど色彩豊かに描き、辺りの雰囲気明るくしている。

市道が通る同橋の橋脚には数年前から落書きがあったというが、地域住民は消した後に再び落書きされることを心配し、子どもたちの絵で彩ることに。地元の県立足柄高校、市立足柄台中学校、市立福沢小学校の美術部などに協力を依頼した。

作業は14日から22日までに計4回行われ、1日最長7時間に及んだ。最終日の22日は、子どもたち約30人が約6時間、ペンキを使って丁寧に色を塗り、一気に仕上げた。橋脚の2面計約100平方メートル(高さ約2・5×3・5メートル、幅計約20メートル)には、お茶をすするかわいらしい金太郎や、新緑の山、地元にも名所がある桜などがお目見えした。

足柄高2年の白岩朋真さん(16)は「壁が予想以上に大きくて大変だったけれど、すてきな絵になった。通り掛かった人に少しでも喜んでもらえればうれしい」と話していた。

(武藤 龍大)